



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル
コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO

(氏名) 岡崎 成子

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 後藤 文孝

TEL 06-6350-1080

半期報告書提出予定日 2024年11月12日

配当支払開始予定日 2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	105,234	10.9	9,186	63.4	8,581	21.3	5,700	6.8
2024年3月期中間期	94,852	4.3	5,623	18.9	7,074	38.5	5,337	53.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 14,252百万円 (33.1%) 2024年3月期中間期 10,704百万円 (△10.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	105.01	—
2024年3月期中間期	97.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	207,367	144,219	69.5	2,654.24
2024年3月期	192,684	132,142	68.6	2,435.66

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 144,219百万円 2024年3月期 132,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	43.00	60.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	3.2	15,400	15.7	15,600	5.9	10,600	3.1	195.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	60,161,956株	2024年3月期	60,161,956株
2025年3月期中間期	5,826,390株	2024年3月期	5,908,810株
2025年3月期中間期	54,288,957株	2024年3月期中間期	54,778,988株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注) 期末自己株式には、従業員持株E S O P信託口 (以下「信託口」という。) が保有する当社株式を含めております。また、信託口が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年11月12日に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。

当日使用する決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 研究開発活動	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(中間連結損益計算書に関する注記)	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経営成績は、売上高1,052億34百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益91億86百万円(前年同期比63.4%増)、経常利益85億81百万円(前年同期比21.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は57億円(前年同期比6.8%増)となりました。

(単位:百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	増減率
売上高	94,852	105,234	10.9%
営業利益	5,623	9,186	63.4%
経常利益	7,074	8,581	21.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	5,337	5,700	6.8%
米ドル平均為替レート(円)	135.00	152.36	12.9%
ユーロ平均為替レート(円)	145.93	164.70	12.9%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	※ 24,367	25,669	5.3%	—
タックラベル	4,308	4,426	2.7%	—
ソフトパウチ	10,340	11,416	10.4%	—
機械	2,229	2,383	6.9%	—
その他	※ 8,104	7,847	△3.2%	—
売上高合計	49,350	51,742	4.8%	—
営業利益	4,259	5,580	31.0%	—
米州				
シュリンクラベル	21,645	27,450	26.8%	12.4%
タックラベル	897	1,394	55.4%	37.7%
ソフトパウチ	148	32	△78.5%	△80.9%
機械	2,779	2,627	△5.5%	△16.2%
その他	384	—	—	—
売上高合計	25,855	31,505	21.9%	8.0%
営業利益	1,206	3,092	156.2%	127.0%
欧州				
シュリンクラベル	8,480	9,457	11.5%	△1.2%
タックラベル	2,976	2,769	△6.9%	△17.6%
機械	3,328	5,339	60.4%	42.1%
売上高合計	14,785	17,566	18.8%	5.3%
営業利益	194	845	335.3%	285.7%
アセアン				
シュリンクラベル	4,238	5,033	18.7%	5.2%
タックラベル	94	62	△34.3%	△41.8%
ソフトパウチ	4,134	4,503	8.9%	△3.5%
機械	263	386	46.3%	29.6%
その他	45	24	△47.4%	△53.4%
売上高合計	8,777	10,009	14.0%	1.0%
営業利益	163	395	141.9%	114.4%

※当期より日本における品目別売上区分の変更を行っており、経営成績の概況については、変更後の区分方法により比較分析しております。

(日本)

シュリンクラベルは売上高256億69百万円(前年同期比5.3%増)、タックラベルは売上高44億26百万円(前年同期比2.7%増)、ソフトパウチは売上高114億16百万円(前年同期比10.4%増)、機械は売上高23億83百万円(前年同期比6.9%増)、その他は売上高78億47百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

その結果、日本全体の売上高は517億42百万円(前年同期比4.8%増)、損益面は営業利益55億80百万円(前年同期比31.0%増)となりました。

(米州)

シュリンクラベルは売上高274億50百万円(前年同期比26.8%増、現地通貨ベース12.4%増)、タックラベルは売上高13億94百万円(前年同期比55.4%増、現地通貨ベース37.7%増)、ソフトパウチは売上高32百万円(前年同期比78.5%減、現地通貨ベース80.9%減)、機械は売上高26億27百万円(前年同期比5.5%減、現地通貨ベース16.2%減)となりました。

その結果、米州全体の売上高は315億5百万円(前年同期比21.9%増、現地通貨ベース8.0%増)、損益面は営業利益30億92百万円(前年同期比156.2%増、現地通貨ベース127.0%増)となりました。

(欧州)

シュリンクラベルは売上高94億57百万円(前年同期比11.5%増、現地通貨ベース1.2%減)、タックラベルは売上高27億69百万円(前年同期比6.9%減、現地通貨ベース17.6%減)、機械は売上高53億39百万円(前年同期比60.4%増、現地通貨ベース42.1%増)となりました。

その結果、欧州全体の売上高は175億66百万円(前年同期比18.8%増、現地通貨ベース5.3%増)、損益面は営業利益8億45百万円(前年同期比335.3%増、現地通貨ベース285.7%増)となりました。

(アセアン)

シュリンクラベルは売上高50億33百万円(前年同期比18.7%増、現地通貨ベース5.2%増)、タックラベルは売上高62百万円(前年同期比34.3%減、現地通貨ベース41.8%減)、ソフトパウチは売上高45億3百万円(前年同期比8.9%増、現地通貨ベース3.5%減)、機械は売上高3億86百万円(前年同期比46.3%増、現地通貨ベース29.6%増)、その他は売上高24百万円(前年同期比47.4%減、現地通貨ベース53.4%減)となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は100億9百万円(前年同期比14.0%増、現地通貨ベース1.0%増)、損益面は営業利益3億95百万円(前年同期比141.9%増、現地通貨ベース114.4%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は2,073億67百万円となり、前連結会計年度末と比べ146億83百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金が38億62百万円増加したこと、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が38億6百万円増加したこと、棚卸資産が46億51百万円増加したこと、有形固定資産が25億75百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は631億47百万円で、前連結会計年度末と比べ26億5百万円の増加となりました。これは支払手形及び買掛金(電子記録債務を含む)が23億79百万円増加したこと、借入金が26億6百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は1,442億19百万円で、前連結会計年度末と比べ120億77百万円の増加となりました。これは利益剰余金が33億44百万円増加したこと、為替換算調整勘定が84億20百万円増加したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、118億35百万円の収入(前年同期は82億円の収入)となりました。これは税金等調整前中間純利益83億89百万円、減価償却費43億81百万円などの計上、仕入債務の増加額14億41百万円などによる収入、棚卸資産の増加額25億57百万円、法人税等の支払額16億94百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43億50百万円の支出(前年同期は49億48百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出30億15百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、53億44百万円の支出(前年同期は27億19百万円の支出)となりました。これは、借入金の減少28億78百万円、配当金の支払額23億56百万円などによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ29億50百万円増加の257億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 研究開発活動

当中間連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、12億7百万円であります。

なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,806	26,668
受取手形及び売掛金	50,695	53,767
電子記録債権	12,628	13,362
商品及び製品	10,227	11,835
仕掛品	6,033	7,448
原材料及び貯蔵品	9,093	10,722
その他	5,684	5,757
貸倒引当金	△105	△70
流動資産合計	117,064	129,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,182	27,416
機械装置及び運搬具(純額)	21,185	21,664
工具器具備品(純額)	2,368	2,331
土地	8,748	9,049
リース資産(純額)	254	260
建設仮勘定	3,041	3,639
その他(純額)	992	987
有形固定資産合計	62,774	65,349
無形固定資産		
のれん	997	935
その他	1,386	1,358
無形固定資産合計	2,383	2,294
投資その他の資産		
投資有価証券	3,568	4,076
繰延税金資産	3,336	2,739
その他	3,672	3,424
貸倒引当金	△115	△9
投資その他の資産合計	10,462	10,231
固定資産合計	75,620	77,875
資産合計	192,684	207,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,474	17,539
電子記録債務	11,118	13,432
短期借入金	4,020	10
1年内返済予定の長期借入金	756	801
リース債務	67	70
未払金	3,853	3,413
未払法人税等	1,960	1,975
賞与引当金	2,246	2,053
その他	11,419	15,049
流動負債合計	52,917	54,348
固定負債		
長期借入金	1,841	3,200
リース債務	98	100
繰延税金負債	1,847	1,474
退職給付に係る負債	2,865	2,977
その他	970	1,046
固定負債合計	7,624	8,799
負債合計	60,542	63,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,599	6,625
利益剰余金	110,990	114,334
自己株式	△9,556	△9,400
株主資本合計	114,024	117,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,342	1,377
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	16,781	25,202
退職給付に係る調整累計額	△1	90
その他の包括利益累計額合計	18,118	26,669
純資産合計	132,142	144,219
負債純資産合計	192,684	207,367

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	94,852	105,234
売上原価	78,358	83,487
売上総利益	16,493	21,747
販売費及び一般管理費	※1 10,870	※1 12,560
営業利益	5,623	9,186
営業外収益		
受取利息	172	107
受取配当金	59	69
還付加算金	75	43
為替差益	1,310	—
廃棄物リサイクル収入	17	20
その他	31	42
営業外収益合計	1,666	283
営業外費用		
支払利息	153	112
為替差損	—	713
休止固定資産減価償却費	61	58
その他	—	3
営業外費用合計	215	888
経常利益	7,074	8,581
特別利益		
固定資産売却益	13	8
特別利益合計	13	8
特別損失		
固定資産除売却損	21	200
特別損失合計	21	200
税金等調整前中間純利益	7,066	8,389
法人税、住民税及び事業税	2,140	2,549
法人税等調整額	△411	139
法人税等合計	1,728	2,688
中間純利益	5,337	5,700
親会社株主に帰属する中間純利益	5,337	5,700

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	5,337	5,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259	35
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	5,670	8,420
退職給付に係る調整額	△42	91
その他の包括利益合計	5,367	8,551
中間包括利益	10,704	14,252
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,704	14,252
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,066	8,389
減価償却費	4,001	4,381
のれん償却額	24	63
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△44
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△254
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11	64
固定資産除売却損益(△は益)	8	191
受取利息及び受取配当金	△231	△176
支払利息	153	112
為替差損益(△は益)	△1,082	601
売上債権の増減額(△は増加)	△2,240	△766
棚卸資産の増減額(△は増加)	△200	△2,557
仕入債務の増減額(△は減少)	991	1,441
未払金の増減額(△は減少)	△459	△340
その他	1,477	2,333
小計	9,465	13,438
利息及び配当金の受取額	243	181
利息の支払額	△148	△90
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,360	△1,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,200	11,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△892
有形固定資産の取得による支出	△3,543	△3,015
有形固定資産の売却による収入	18	115
無形固定資産の取得による支出	△109	△98
投資有価証券の取得による支出	△18	△438
貸付けによる支出	△75	△42
貸付金の回収による収入	3	44
連結の範囲の変更を伴う子会社の取得による支出	※2 △1,204	—
その他	△18	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,948	△4,350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,500	△4,010
長期借入れによる収入	—	1,523
長期借入金の返済による支出	△21	△391
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	107
配当金の支払額	△985	△2,356
その他	△212	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,719	△5,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,361	809
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,894	2,950
現金及び現金同等物の期首残高	17,347	22,788
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 19,242	※1 25,738

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更が中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更が中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結損 益計算書計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,453	25,849	13,287	7,261	94,852	—	94,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	897	5	1,497	1,515	3,916	△3,916	—
計	49,350	25,855	14,785	8,777	98,768	△3,916	94,852
セグメント利益	4,259	1,206	194	163	5,823	△200	5,623

(注) 1. セグメント利益の調整額△200百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、取手ファーマ株式会社及びTAT取手アセットトレーディング株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、日本セグメントにおいてのれんが984百万円増加しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結損 益計算書計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,431	31,501	14,793	8,508	105,234	—	105,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,311	3	2,772	1,500	5,588	△5,588	—
計	51,742	31,505	17,566	10,009	110,822	△5,588	105,234
セグメント利益	5,580	3,092	845	395	9,914	△727	9,186

(注) 1. セグメント利益の調整額△727百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
給与手当	4,007百万円	4,599百万円
賞与引当金繰入額	535	808
貸倒引当金繰入額	△3	△30
退職給付費用	57	125

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	24,258百万円	26,668百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	△930
当座借越	△5,015	—
現金及び現金同等物	19,242	25,738

※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

株式の取得により新たに取手ファーマ株式会社及びTAT取手アセットトレーディング株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式の取得価額と取得による支出(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	61百万円
固定資産	210
のれん	984
流動負債	△31
子会社の取得価額	1,224
現金及び現金同等物	△20
差引：連結の範囲の変更を伴う子会社の取得による支出	1,204

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。